

木村よしお通信

2019
新年号

【東京事務所】〒100-8962 千代田区永田町2-1-1-305 TEL:03-6550-0305 / FAX:03-6551-0305
【高松事務所】〒760-0068 香川県高松市松島町3-22-4 TEL:087-833-2251 / FAX:087-833-0433

発行 / 自民党参議院比例区 第七支部

◎本年も、何卒よろしく お願い申し上げます

新年、明けましておめでとうございます。本年も、何卒よろしく
お願い申し上げます。

旧年中は支持者の皆さまに大変お世話になり、皆さまのお声が
原動力となりました。昨年は、例
年以上に様々な事に「挑戦」し
てきた年のように思います。その
中でも、私がこれまで30年近く
取り組んできた社会保障・医療・
介護・雇用・子育て等、様々な
分野で、改革が実現する年とな
りました。

◎約30年の国政経験が、 様々な「実現」に

そのうちの1つとして、「介護療
養型医療施設の継続」を実現し
ました。皆さんは、「介護難民・
医療難民」という言葉を聞いたこ
とはありますか？これは俗に言う
「たらい回し」によって、介護や
医療を適切に受けることが出来ず
病院等を転々とさせられてしまう
方々を指します。その状態にある
方が約20万人もいらっしゃいま
す。また、実際に現場の声を聞く
中で、患者さんだけでなくそのご
家族にも大きな負担が強いられて
いる事を痛感しました。そこで私
は、医療・介護を必要としている
方々、そしてそのご家族の方々が
安心してサービスを受ける事がで
きるよう、医療及び介護サービ
スを一括提供する「介護療養型



30年前と変わらず、これからも様々な事に挑戦し、皆さまの声を国政に届け続けます

医療施設」の継続を実現しまし
た。（廃止が決まっていたのです
が、各者の声を元に継続案を提
出し成立させる事ができまし
た。）

◎課題は、政策づくりの 「目線」の置き方

上記の改革は、「患者や家族
目線の医療・介護」を実現する
為に取り組んだものです。しか
し、未だ多くの分野で、困り事
を抱える方々自身の目線が失わ
れている制度・環境が山積みで
す。

例えば、昨年ある児童養護施
設出身の若者から「私がいた施
設では、親と引き離された後、6
畳1間の空間に何人もの子供たち
と一緒に詰め込まれ、私語すら
も許されない環境でした。」と
いった実体験を聞きました。子
供を支える上で、危険から離す

なく、教育や愛情に触れる環境
も必要ではないでしょうか。自
民党認定こども園振興議連会
長という立場としても「子供目
線の子育て環境」を作る事にも
一層力を入れていきます。

◎約30年の経験を、次なる 時代づくりへ活かします

このように、医療・介護・子
育てを始め、様々な分野で「困
っている方々の声や目線」が反
映されていない課題が山積みで
す。私が長きに渡って特に注力
してきた「社会保障・医療」と
いう分野は、まさにそういった
「社会の光の当たらない分野を
照らすこと」が最大の責務です。
これまでの国政経験、お一人お
一人のお声をもとに、次なる
時代づくりへ今後も「邁進」
して参ります。

(木村 よしお)

～今月の話題～

今年も様々な事に「挑戦」し、
「邁進」し続けます。





外国人受け入れ問題の 論点とは？ - 後編 -

こんにちは。今回の気になるニュースは、前号に続いて外国人受け入れ問題について解説します。

◎外国人受け入れ問題で 大事なポイントとは

私は2016年の2月に労働力確保に関する特命委員長に拝命され、経済や社会保障の専門家、地方自治体、省庁、関連施設の方々とこの問題を討論してきました。その結果委員会から党内へ報告書が上がり、党内検討がされ、閣議決定へと繋がり、法整備をするために衆参両院での話し合いとなっているのです。

情報番組等で「議論が足りない」「もっと慎重になるべきだ」とのご意見を沢山いただきます。

ではどのくらいの議論を重ねれば安心してスタートできるかを考えますと、世界情勢は常に動いており、最適な答えを探し続けても土台が変わってしまい、いつまで待っても同じではないかと考えますし、私達が既に長い間調査し検討してきていることを信じていただきたいと思います。そのような背景から出した結論は、外国人受け入れ問題で最優先させなければならないのは「日本の経済力を衰退させないこと」でした。国力を維持しなければ国民生活の水準の維持も社会保障制度の維持もできないからです。日本はいわゆる資源国として成り立っているのではなく、原材料や半製品を他国から輸入し、製品や半製品を加工して輸出する加工貿易国であります。モノづくり国

である以上労働力は必須ですが、少子高齢化問題、業種毎の労働力の偏りなどから、十分な労働力の確保が難しい状況にあるのです。つまり労働力不足は日本経済の成長を滞らせ、経済の縮小に繋がり、国民の生活水準が下降し、社会保障制度の維持も危ぶまれるのです。教育の面では、外国人材の受け入れを拒むことで、子どもたちは自国にいなながらグローバルな教育を受ける機会がなくなるのです。グローバル教育とは語学教育だけではなく、多民族の文化や習慣・価値観を理解し、受け入れ共生する価値観を育てることであります。外国人受け入れ問題の背景にあるこのような現状が、この問題の論点なのです。

(木村 よしお)

木村よしおのちょっと昔話

第4回 34回目の賀詞交歓会

◎1987年に初めての 賀詞交歓会を開催

1986年7月に衆議院議員に初当選して以来、地元である香川県にて毎年1月に「賀詞交歓会」を開いています。これは、年初にこれまで応援して下さった方々への「感謝」と、これから1年の「抱負」をお伝えする会です。

初めての賀詞交歓会では、どれくらいの方々が集まって下さるだろうかと少し緊張していた事を覚えています。しかし蓋を開けてみると、当時の秘書、事務局の方々、地元の方々の力添えもあり、約500名の皆さまにお集まりいただきました。

あの時、皆さまと共にこの会を実現できた事、私の気持ち・志を聞いていただけた事を、今でも嬉しく思っています。

◎共有できる嬉しさ

今年で34回目となる賀詞交歓会ですが、中には車椅子にも関わらず、北海道から飛行機や車を取り継いで香川まで来て下さることもありました。



私は普段あまり口にはしませんが、皆さまが駆けつけて下さること、応援して下さることに、とても感謝しています。

◎気持ちや志は、 全国の皆さまと共に

全国の支持者の方々とは直接話せる機会は、あまり多くありません。ですが、私の気持ちや思いを、このニュースレターを通して読者の皆さんと共に分かち合えればと思っております。この気持ち、日本の未来を良くしたい志は、全ての都道府県の皆さんと共にあります。2019年も、どうぞ宜しくお願い致します。(木村 よしお)

活動報告

このコーナーでは、木村よしおが行った主な活動などをご報告させていただきます。活動についての詳しい内容や詳細は、各種 SNS や木村よしお公式 HP 内にあります、週刊木村よしお (<https://kimuyoshi.net/report/>) などをご報告させていただいておりますので、ぜひご覧ください。

- | | |
|---|---|
| 11月3日(土)高松 宇多津町120周年式典に参加 松島校区秋季運動会に出席 | 11月28日(水)参議院本会議 |
| 11月4日(日)坂出市少林寺拳法大会に出席 | 11月29日(木)参議院厚生労働委員 外国人労働者受け入れに関する勉強会を主催 |
| 11月6日(火)BS11「インサイドアウト」出演 | 11月30日(金)参議院本会議～参議院議員総会～
TV朝日「朝まで生テレビ」出演 |
| 11月7日(水)本会議 補正予算成立 | 12月4日(火)自民党厚生労働委員会 自民党政務調査会 厚生労働部会に出席 |
| 11月9日(金)臨床工学技士のありかたを考える議連に出席 | 12月5日(水)参議院本会議 政策審議会に出席 |
| 11月13日(火)個室ユニットケア推進議員連盟・保険制度改善推進議員連盟
厚労部会に出席 | 12月6日(木)厚労部会・農林部会・厚労委員会
四国ブロック両院委員会に出席 |
| 11月14日(水)政策審議会出席 香川県 地元会合に出席 | 12月7日(金)木村義雄政経フォーラム～参議院本会議に出席 |
| 11月18日(日)香川県視覚障害者福祉協会に出席 | 12月9日(日)木村よしおを支える女性部大会に出席 |
| 11月22日(木)沖繩県訪問 全国個室ユニット型施設推進協議会全国大会に出席 | |
| 11月27日(火)自民党参議院厚生労働委員会出席 自民党賃貸住宅対策議員連盟
厚生労働部会 国民起点プロジェクト参加
虐待に関する特命委員会に出席 | |

国会見学を開催いたしました

◎清々しい秋空の下、皆さまに国会の魅力を感じていただきました。

昨年(2018)の11月、支援者の皆さまと国会議事堂の参議院見学をいたしました。国会議事堂は、大正9年(1920年)から昭和11年(1936年)まで、16年の歳月をかけ、ほぼ国産の資材で造られた日本が世界に誇る建物です。参議院の特徴は、衆議院にはない天皇陛下のお席が用意されていることです。国会の会期の始めには、衆参議員がそろって陛下をお迎えし、

お言葉を賜わります。この開會式には、何度出席しても身の引き締まる思いがします。ご参加くださった皆さまには、私の経験談や衆参議院の違いなどをお伝えし、感動した点や気づきに繋がったとのご感想を頂きました。前庭にある都道府県シンボルの県木の紅葉も始まり、実に気候の良い素晴らしい国会見学でした。ご参加くださいました皆さま、ありがとうございます。(木村 よしお)



秘書ハラシマの部屋

◎今年「準備・挑戦」を意味する年回り

こんにちは、木村よしお秘書の原島です。「木村よしお通信」をご覧の皆さま、新年明けましておめでとうございます。本年も、何卒よろしくお願ひ致します。

今年(2019)は60年周期の干支学によりますと「己亥(つちのとい)」という年回りになります。簡単にいうと「完成した自己や成熟した組織が、足元を固めて次の段階を目指し準備・挑戦する」ということを意味する一年になるそうです。60年前というと、今上陛下と美智子様のご成婚された年

でした。そして、60年後の今年ご退位され、新しい時代が幕開けとなります。また、戦後最大級の高潮被害を及ぼした伊勢湾台風も、ちょうど60年前のことでした。

◎そして「選挙の年」でもある一年に

さて、今年(2019)はどのような年になるのでしょうか。今年(2019)は、春に統一地方選挙があります。また、夏には参議院選挙があり、まさに「選挙の年」ということになります。我々、木村のスタッフといたしましても、しっかりと準備をし、次なるステップへ挑戦したいと思います。そして、日頃からご支援



いただいている皆さまのご期待にお応えできるよう、一生懸命頑張っていきたいと思ひます。引き続き、本年も変わらぬご指導・ご支援のほど、何卒よろしくお願ひ申し上げます。寒さ厳しき折、皆さま、体調などをお崩しになられませぬよう、くれぐれもご自愛ください。(原島 潤)

木村よしお
通信から
お知らせ

「木村よしお通信」へのご意見・ご感想、取り上げて欲しい話題やテーマなどがございましたら、下記メールアドレスまたは、木村よしおfacebook、事務所までのお手紙などでご連絡をいただけますと幸いです。

◎メールアドレス: yoshio_kimura01@sangiin.go.jp

◎木村よしおfacebookページ (<https://www.facebook.com/kimurayoshionet/>)

木村よしお 支援者からの声

木村義雄は、我々のおやじで、実にタフな男です。

小笠原 文孝

20年以上前からの付き合いになりますが、お会いした時はまさに豪胆なお方だ、との印象でした。

政治信条は、ホームページにありますように、弱者のために自分が果たすべき勉めを掲げられています。初当選以来、社会福祉や医療等、国民と密着する課題にひたすら取り組まれており「一を以って之を貫く」の精神で活動されていることに崇敬の念を抱いている1人です。

先生が掲揚されておる「七つの政治的信条」は、まさに先生の心情そのものです。

風貌から豪放磊落（ごうほうらいらく）な方に見えますが、端的に言えばそれが正解でしょう。度量が豊かで、行動もキビキビしていて、辣腕を振るう、それが一般的評価だと思います。辣腕といえ、少々耳障りに捉えがち

ですが、先生は政治信条において処理される能力が優れているということです。

正義感が強くてタフな神経をもって、それでもって移り変わる福祉のニーズには敏感であり、ホントによく勉強なされています。

我々現場人とのやりとりの中で、現場人が恥ずかしくなる程の保育のプロパーぶりを発揮されますから、こちらは負けてはなりません。ところが、諸課題を克服されても宣伝も自慢もされないという性格が魅力的で感動してしまうのです。つまり豪胆な性格の裏には、武士のような仁義礼智

心という徳性をもっておられるから惹きつけられるのでしょう。

ですから、認定こども園の仲間たちは、家族としての親しみ感や受容される懐の深さを肌で感じているので、陰では「おやじ」という呼称でひそかに呼び合っているのです。このように保育にも造詣の深い「おやじさん」がいるおかげで、立派な保育制度ができたと思うと感謝に耐えないのです。優しい「おやじ」ですから皆さん一度お会いして話してください。酒は一滴もダメの甘党一直線です。絶対に面白い人物に間違いありませんから。



小笠原文孝氏 プロフィール

- ・昭和23年10月5日生まれ
- ・日本体育大学・体育学部・武道学科卒業
- ・よいこのもり認定こども園 園長
- ・よいこのもり第二認定こども園 園長
- ・社会福祉法人 顕真会 理事長
- ・全国認定こども園振興連盟 会長
- ・著書『保護者の要望をどう受けとめるか』『入園のしおりー作成のポイントと実例ー』『保育所の新・第三者評価を読み解く』

安友子's Talk

◎精一杯父のサポートに務めてまいります

こんにちは、木村よしおの秘書を務めております、木村安友子です。改めまして、新年明けましておめでとうございます。本年も何卒よろしく願い申し上げます。

今年は、父にとっても私たち家族にとっても大切な一年となります。

7月には、6年振りの選挙が行われます。今までの選挙というと、幼い頃は「お父さんが無職になったらどうしよう……」と不安な気持ちになったり、私が成人してからの選挙では、父を側で見ている「とても苦しくて

大変そう……」と、私の中で選挙に対してそのようなイメージができていました。でも、今年はこの状況を楽しんで、応援したいと思います。また今回の選挙は、私も父の秘書として、これまで以上に自分自身の身を引締め、精一杯サポートをしてまいります。



精一杯、父をサポートします！

◎今年の目標は、「とにかく楽しむこと！」

選挙は一筋縄では行かないことは分かっていますが、父が使命感を持って取り組んでいる大好きな仕事のお手伝いができるよう、引き続き頑張ります。大変なことも多いと思いますが、今年は「とにかく楽しむこと！」を目標に、笑顔で元気に取り組んでまいります！

最後になりますが、皆さまにとって、本年が良い一年となりますよう心からお祈り申し上げます。寒い日が続いておりますので、体調など崩されませんよう、ご自愛くださいませ。

(木村 安友子)